

# 第3回 川柳を楽しむ会 作品コンテスト 結果発表

第三回作品コンテストは、前首都圏同窓会会長で江戸川柳研究家であり、現代川柳にも造詣の深い小栗清吾様から頂いたお題「自由」「親兄弟」「思い切る」で募集しました。

締め切りまでに、十名から五十七点の応募があり、小栗清吾様と、前回同様、瑞浪高校の出身者で『川柳塔』という有名な結社の元常務理事で現代川柳のプロ、水野正明様に寸評と入賞作品の選定をお願いしました。その結果、左記のとおり四作品が入賞いたしました。

栄えある入賞者には、心からお祝い申し上げますと共に、残念ながら入賞できなかった方々の、今後の奮起に期待します。

なお、古川柳と現代川柳の大御所から寸評を頂きましたことは、私ども川柳を楽しむ会にとりましては、身にあまる光栄であり、衷心より感謝と御礼を申し上げる次第です。

川柳を楽しむ会 会長 伊藤一徳

優秀賞

「天」

宮田栄子

コロナ禍の墓参遠のき小豆煮る

準優秀賞

「地」

長谷川周三

香港の自由を奪う赤い龍

佳作

「人」

川野勝喜

旅すれば翼を広げて鳥のよう

「入選句」

虎澤昭久

退職後金と自由は反比例

## 選者のお言葉

宮田さんの句は良い句が多く、川柳塔社にスカウトしたいです。なお佳作「人」の川野さんの句は、後述の添削のようになれば、川柳塔に載せることが出来ます。

勝手な改作をほぼ全句についてやってみました。ご無礼の程、「寛恕を。」

◇ 宮田 栄子(46年卒)

「自由」

まだ独り二十歳(はたち)で家出はや古稀ぞ

二十歳で家出まだ独り身の古稀の春

独居でも自由に勝る幸はなし

独り居の自由満喫できる幸

自由だが少し束縛されたいな

独り居が少し束縛懂れる

「親兄弟」

「カムカム」を父と唄った幼き日

「カムカム」と父と歌った終戦後

コロナ禍の墓参遠のき小豆煮る

「優秀賞 天 受賞作」 とてもいい句です

お正月自然薯をする母の朝

元旦も自然薯を摺る母の朝

いい句です

「思い切る」

犀星の「小景異情」解る帰路

犀星の小景異情わかり古稀

断捨離の覚悟は捨ててショッピング

断捨離の覚悟さておきショッピング

若さゆえ道ならぬ恋盲目に

道ならぬ盲目の恋若かった

◇ 長谷川 周二(45年卒)

「自由」

敗戦で転がり込んだ民主主義

まあOK

香港の自由を奪う赤い龍

「準優秀賞 地 受賞作」これも可

定年後妻の餌食う籠の鳥

定年後妻から餌をもらう日日

犬かきもカエル泳ぎも自由形

そうですね

「親兄弟」

父添え寝子守歌のち大いびき

子守歌の父からやがて大いびき

嫌だったケバイ化粧の参観日

参観日母の濃いめの化粧いや

兄弟の女房が仕切る遺産分け

兄弟の妻らが仕切る遺産分け

面白い句

羊糞の厚さが母のエコ鼻肩

羊糞の厚さで母はエコ鼻肩

肥桶を担げと力む糞親父

肥桶を担いだ父の力こぶ

肥桶を周も担げと父の命

「思い切る」

溺れてる飛び込んだ！けど泳げない

溺れる人につい飛び込んで泳げない

いい内容ですが、うまく添削できません

バンジーの落ちる恐怖を金で買う

バンジーの恐怖を金で買ってみる

萩と萩つい呼んじやったおはぎさん

萩のつく名前の人をおはぎさん

選者の添削：赤字

◇ 川野 勝喜(54年卒)

「自由」

旅すれば翼を広げて鳥のよう

「優秀賞 人 受賞作」

鳥となり翼広げる旅の空 中〇は避けまじよう。

「親兄弟」

ふと思うどこか似ている親兄弟

古稀間近どこか似てくる 親の癖

「思い切る」

頬寄せて壊れるくらい抱きしめて

頬寄せて抱きしめ妻の誕生日

抱きしめる相手を具体的に述べると良くなります。

◇ 水野 久志(47年卒)

「自由」

ワクチンを予約すれば品不足

ワクチンの予約したいが品不足

「親兄弟」

コロナ禍で帰省できぬ瑞浪か

コロナ禍が帰省をまたも妨げる

「思い切る」

コロナ禍で仕事に遊びもういいか

コロナ禍に趣味も仕事もままならぬ

◇ 虎澤 昭久(45年卒)

自由

蕎麦屋出て目的なしに三時間

蕎麦すすり銀ぶら至福三時間

昼食後夕暮れまでの時代劇

昼食後夕食までを時代劇

線路内遊び自由か駄知線は

駄知線は線路で遊ぶほどまばら

駄知線の線路歩いて家帰る

駄知線の線路は通勤通学路

退職後金と自由は反比例

「入選句」 ほぼ「これでOK

「親兄弟」

出ては消え一生続く親の顔

生涯に消えない親の顔と恩

小田原で俺が継いでる味噌雑煮

小田原で継いだ故郷の味噌雑煮

継いでいる

の意味がよく分からず、

最初は、蒲鉾ではなく味噌雑煮の店を継いでいると解釈したが、  
どうもそうではなくて、小田原に住んではいるが故郷瑞浪の味を僕は継いで  
いるのだ、の意味だと考えなおした。

わんぱくの謝罪忙がし母の日々

わんぱく時代を母に謝罪の続く日々

「思い切る」

終活でゴクミの写真シレッター

ほぼ「これでOK

レジ怖い天津飯のまる残し

ちよつと意味がわかりません

◇ 伊藤 一徳(45年卒)

「自由」

まあただか暖簾横目にオミクロン

(吞兵衛だから…)

まだあかん暖簾横目にオミクロン

もういいよズーム通して酒の味

(ズーム会議から飲み会迄…)

ズーム会議終えて酒待つ食卓へ

「親兄弟」

歳の差が兄を超したいお年玉(子供のころの思い出ですね…)

歳の差で兄越えられぬお年玉

息遣い父を想って初日の出

(年老いた父と、日吉へと山を登った思い出)

老いた父と山を登った初日の出

「思い切る」

昔なら乗ってる筈がベルの音

(思い切って駆け上がったが、足が付いてこない…)

フォームへと駆けて電車に乗れた頃

夢を見て 北斗七星今ネオン

(思い切って、八ヶ岳・北杜市に移住したつもりが、また吉祥寺のネオン街?)

北斗への夢懐かしむネオン街

選者の添削:赤字

◇ 加藤 桂吾(46年卒)

「自由」

自由人羨む君は痔有人

自由謳歌の君も勝てない痔の病

自由こそ高くつくもの他になし

時として自由は高くつくこと知る

「親兄弟」

あんた誰言われた親に泣き笑い

あんた誰ついに母から言われ冬

「思い切る」

交差点もつと進めと人生(ヒト)の道

交差点人生決めるみぎひだり

ちよつと意味が不明なので、勝手に改作しました

まだできる友の前だけ見栄を張り

まだできる友には見栄を張って古稀

◇ 松原 博隆(45年卒)

「親兄弟」

古希過ぎて改元三度父を越え

古稀過ぎて御代二代に父偲ぶ

「思い切る」

来し方の記憶鮮やか断捨離

断捨離に思い出深い物ばかり

選者の添削:赤字

◇ 塚本 信行(41年卒)

「自由」

出かけるな聞こえてないよ夢で旅

三密も夢の旅なら許される

頑張れえ飲酒大声テレビ機敷

大声も飲酒もテレビ機敷なら

「親兄弟」

鏡の中おやじが俺を見ているよ

つい先日、私はこんな句を詠みました

三面鏡親の遺伝子滲み出る

金貸して言ってた頃が懐かしい

金貸してと言えてた頃が懐かしい

「思い切る」

覚悟して打ったワクチンまた打つの

覚悟して打ったワクチン二度三度

さようならスマホから消す連絡先

友送りスマホから消す住所録

◇ 日比野 仁美(46年卒)

「自由」

ニューノーマルもう外せない顔パンツ

よく意味がわかりません



## 総評

小栗清吾

皆さん、たくさんのご応募有り難うございました。

今回の兼題のポイントは、募集の時の「アドバイス」に書いた通りですが、募集期間中に「難しい」というご意見が少なからずありましたので、失敗だったかと心配しました。

しかし、応募して戴いた作品を拝見すると、意味合いをよく理解して、発想を膨らませて戴いた句ばかりでしたので、すっかり安心いたしました。

皆さんの創造力に敬意を表します。

今回も、選考と添削は、瑞浪高校同級生で親友の

水野正明（黒兎）氏にお願いしました。

ご承知の通り、有名な『川柳塔』社の幹部で、現代川柳のプロです。

その彼の目から見て、機関誌に載せられるレベルの句もあつたようで、素晴らしいことだと思えます。

次回もまた多数の作品を生み出していただくことを期待しています。

有り難うございました。